回 覧

Kashiwazaki Area International Association News

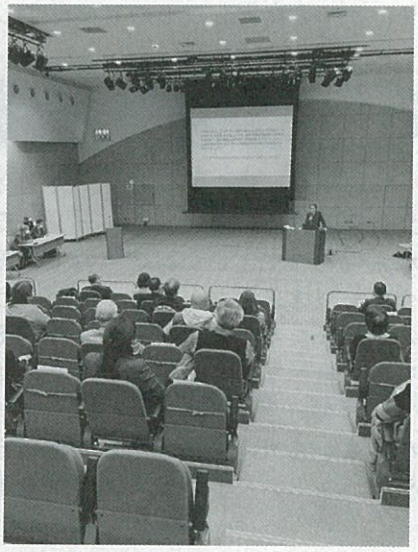
(公財)柏崎地域国際化協会ニュース

第33号 March 2021

編集・発行/(公財)柏崎地域国際化協会 新潟県柏崎市東本町1-3-24 市民プラザ2F
(監修/柏崎市産業振興部商業観光課) TEL&FAX 0257-32-1477 E-mail:kaia2006@kisnet.or.jp

多文化理解講座「北朝鮮を取り巻く情勢と拉致問題解決への道」

11月19日に、北朝鮮による拉致被害者でもある新潟産業大学蓮池薫准教授による講演会をコロナ禍ということもあり、参加人数を制限し、安全を確保したうえで会員・関係者向けに実施しました。今の北朝鮮を取り巻く情勢や、拉致されてから帰国するまでの様子、心情などを詳細に語られました。参加者からは、「まだ帰国が実現していない拉致被害者とそのご家族のお苦しみを思い、あらためて帰国の早期実現を願うばかりだ。」「改めて拉致という解決していない問題を放置してはならないと感じた。」というご感想をいただきました。



「設立25周年に向けて」

(公財)柏崎地域国際化協会 理事長 新野 良子

当協会は1998年に設立され今年25周年を迎えます。2011年には公益財団に認定され10周年の節目にもあたります。設立目的は一貫して多文化共生の地域づくりであり、柏崎はもとより世界の人々が人種や文化、国や立場の違いを認め合い、互いに安心で住みやすい社会づくりを目指しています。男女共同参画の理念とも基本的考え方で重なるものを感じます。

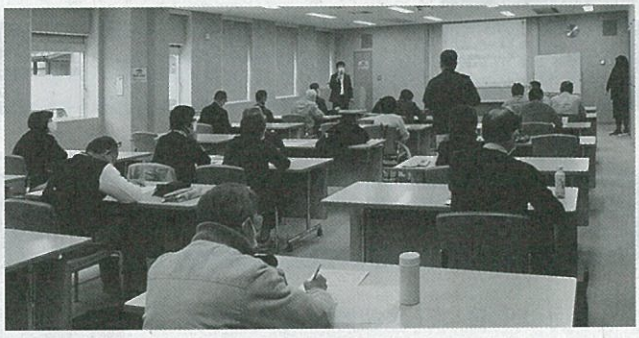
設立当初から柱は変わりませんが、社会状況は様々に変化しており、ニーズや事業内容もそれに合わせ少しずつ変わってきています。事業に参加された方々の中には社会人となり世界各地で活躍されたり、柏崎で起業永住されたりと嬉しい報告もいただきます。近年は外国人の方々の労働人口が増し、言葉や生活、教育問題などの相談件数も増えています。課題への対応や語学教室の開催などで、誰もが自分らしく住みやすい持続可能な街づくりを目指して、SDGsにも掲げられる17の目標を意識しながら、協力企業や会員、ボランティアの方々の協力のもと活動を継続しているところです。

25年を振り返れば思い出深い事業が沢山ありました。その中でも多くの方々に楽しんでいただいた「地球市民文化祭」や「世界のスイーツ」がテーマの交流会は印象深いものでした。周年に当たる今年はどんな企画をご提案できますやら。安心・安全のもと事業が実現され、地域の皆様にお楽しみいただきながら国際化に触れていただく場となりますよう願うばかりです。

■協会賛助会員登録数・個人68人 団体29社 ■外国人住民数・総数924人・男383人・女541人(柏崎市2021年1月末現在)

2020年度活動報告

10月 国際理解セミナー「アジアを知る！」

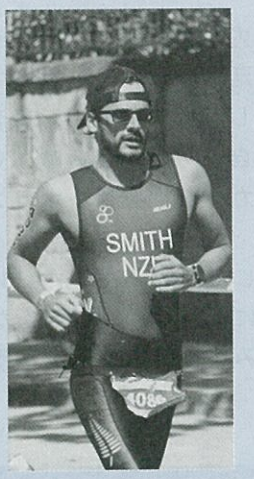


新潟工科大学李虎奎准教授をお迎えし、「もっと知りたい韓国文化！」と題し、ご講演いただきました。韓国の文化をご紹介いただくとともに、外国の文化を捉える時にはそれぞれの主観が入っていることを念頭に、「なんでだろう」と、関心を寄せつつ、ぜひ自分自身の地域の文化に関心を寄せ、住みよい街にするにはどうしたらよいか考えてみてほしい、という内容でした。当日は市内外から25名の方にお越しいただき、活発な質疑もあり、とても充実したものとなりました。

1月 多文化理解講座「えいごでクッキング・バレンタインスィーツ」

料理や食べ物をとおして、外国文化に触れる多文化理解講座。今回はニュージーランド出身講師から現地の中学生が料理実習で作るお菓子をご紹介いただきました。コロナ禍ということもあり、ご参加いただける人数も限られ、その場で作ったものを食べながらの交流はできませんでしたが、「英語が好き」な方にも、「スイーツづくりが好き」という方にも、そして小学生から大人まで幅広い年代の方にご満足いただける講座でした。ニュージーランドのバレンタイン事情も興味深かったです。

がんばっています！ 柏崎人　アニール スミス さん（ニュージーランド出身）



Q1. いつ、そしてどれくらい柏崎に滞在していましたか？
2013年4月から2016年8月の3年半、市内小中学校のALT（外国語指導助手）でした。

Q2. その後、どう過ごされていましたか？
今は、ニュージーランドのオークランドに住んでいます。国内でもトップクラスの私立女子中学校に体育教師として勤務しています。仕事以外でも、トライアスロンのマスターズの大会に参加したりと、趣味も仕事も充実した生活を送っています。2019年にはアクアスロン（自転車競技のないトライアスロン）世界選手権30～34歳の部にニュージーランド代表として出場しました。（写真左下）

Q3. 柏崎の思い出はどんなものがありますか？
フレンドリーな人々と、田園風景です。いつもニュージーランドの友人には、柏崎は自然が豊かでリラックスできるところだということを話しています。

Q4. ニュージーランドの新型コロナウィルス感染症の状況について教えてください。
感染者数は少ないですが、政府によるロックダウン（都市封鎖）が、2020年には2回、2021年には1回ありました。ありがたいことに今年に入ってからは数日で済みました。授業もオンラインになりましたが、生徒が外に出ることができないので、体育の授業は難しかったです。

Q5. 柏崎のみなさんにメッセージをお願いします。
柏崎市の皆さん、きっと元気に過ごされていることと思います。いつかまた、柏崎を訪れ、久しぶりに皆さんにお会いしたいです。2021年が素晴らしい年になりますように、安全に過ごされますように願っています。